

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知る DNAはなぜ右巻きか	八島栄次	6月30日(火)	
学生番号	学部・学科	学年	氏名
06090230-2	理	1年	牧健太郎

先生の講義を聞いて、私たちの体を作っているDNAの不思議について今一度深く考えさせられました。二重らせんであたからこそ遺伝情報を受け継ぐことができ、さらには例外なく右巻きになっているという偶然の不思議が科学にはたくさんあります。DNAは我々地球生命だけなのか、宇宙のどこかに別の生命がいるのかという話は非常に神秘的で、わからないけれどどこかにいてほしいなという気持ちがします。らせんは私たちの日常生活のあらゆる所に見受けられる(受話器のコイル、リフトフリースケール)ことから、なに気ない形だけれど利用価値も高いなと思いました。右巻きと左巻きの鏡に映した関係というのも実は深くてももしろい話だと思いました。らせんを記憶させるということが紹介されていたけれど、それによって右巻き、左巻きを自由に制御できらせん高分子が作られたら新しい物質ができてくると思うのですごいだろかなと思いました。やはりらせんというものはある種特殊な形だし、目には見えないサイズの世界でもらせんは重要な役割を担っているということなんだと思いました。私たちの体になっているDNAがもしらせんでなかったら、こんな風に生物は発達できなかったと思うと、そういう点に科学のもしろさを感じます。このような知的的好奇心を育てられる研究に自分も出会えたらいいなと思います。